

令和7年度 宿泊税を活用する事業

令和7年度の宿泊税は、令和8年3月（令和8年4月収入分）からの税率（税額）改定を見据え、「市民・観光客・事業者三者の満足度が高く、新たな魅力や価値の創造等にもつながる持続可能な観光」の実現に向けた取組に活用する。

【事業費 1,263 億円（うち宿泊税 59.1 億円）】

①～⑯に記載の数値は事業に要する経費 [単位：百万円]

◆ 多様で奥深い魅力を活かした「観光」の推進

(1) 観光を通じた京都の魅力の継承・発展 【事業費 10.7億円（うち宿泊税 8.3億円）】

- ① 京都の多様な魅力の向上、情報発信の更なる強化 566
多様なエリアにおける魅力発信事業 など
- ② 修学旅行誘致の強化 96
- ③ MICE誘致の強化 212
- ④ 観光客向け案内整備 165
- ⑤ 観光事業者の経営強化・魅力発信 30
旅館をはじめとする宿泊施設の経営強化・魅力発信支援事業 など

(2) 文化の力を活かした価値創造 【事業費 63.3億円（うち宿泊税 5.3億円）】

- ⑥ 文化財の保全・継承に向けた取組 824
- ⑦ 伝統文化の担い手育成・魅力発信 292
- ⑧ 文化振興による多様で奥深い魅力創出 5,212
子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出 など

(3) 品格ある景観創造 【事業費 15.1億円（うち宿泊税 4.0億円）】

- ⑨ 京町家の保全及び継承に関する取組 274
- ⑩ 歴史的景観・自然景観の保全に向けた取組等 1,233

◆ 市民生活と観光の調和・両立の更なる推進

(4) 観光課題対策の着実な実施 【事業費 192.1億円（うち宿泊税 9.3億円）】

- ⑪ 安心安全な受入環境整備 335
観光地等における散乱ごみ対策 など
- ⑫ 移動利便性の向上・観光地等交通対策 18,843
市バスのリアルタイム運行情報（車内混雑度や走行位置等）の発信 など
- ⑬ 観光に対する市民の共感醸成、京都観光モラルの普及・促進 28

(5) 市民・観光客双方の利便性向上や安心安全につながる都市基盤整備

【事業費 976.1億円（うち宿泊税 26.0億円）】

- ⑭ 災害時等における市民・観光客等の安全対策 55,747
道路・橋りょう・河川等における防災対策事業、帰宅困難者対策 など
- ⑮ 交通施設等社会インフラの機能強化 27,081
街路整備、地下鉄烏丸線可動式ホーム柵の全駅設置 など
- ⑯ 公共土木施設の維持管理など 14,786
舗装道補修 など

○ 宿泊税課税・徴収経費 【事業費 6.2 億円（うち宿泊税 6.2 億円）】

キャッシュレス支払への対応や、税額引上げに伴う事業者の対応を支援するため、特別徴収事務補助金の補助率を3%（令和7年度交付分から5年間は3.5%）に引上げ

※表示単位未満を端数処理しているため、合計が一致しない場合がある。